

治療と仕事の両立支援

つむかぎ～企業の取り組み事例

【第2回】

世界に一つのビルメンテナンス企業

「一人一人が生き生きと働くことによって、

自分も会社もついでに一緒に幸せになっていく」



株式会社沖縄ダイケン

経営企画部経営企画課長

新崎 彦司



<https://www.oki-daiken.co.jp/>

業種：ビルメンテナンス業

事業内容：清掃、ホテル客室管理、施設管理、
法定点検、指定管理業務

正規雇用：539名

非正規雇用：1014名

産業医：有り

産業看護職：有り

所在地 本社：沖縄県那覇市おもろまち1-1-12

浦添本社：沖縄県浦添市牧港2-54-2 ほか2支店、10営業所

企業紹介：

当社はビルメンテナンスの企業として沖縄が本土復帰した翌年の昭和48年に設立以来、安全快適な環境づくりを提供し沖縄において業界トップの実績をもって今日を迎えております。

◎ビルクリーニング技能競技大会 7連覇中

◎健康経営優良法人2021（大規模法人部門）認定

世界にひとつのビルメンテナンス企業

～ Smile for You ～

地域と未来の笑顔のために



🍀両立支援に取り組んだきっかけ

- 当社で働く従業員がどんな時も、自分らしく生き生きと輝き働き続けられる職場環境を作りたいから。
- この会社で働けて本当に良かったと退職後にも笑ってもらいたいから。
- 実際当社で、病気やけがですごく不安な思いをしたという従業員の話聞いたから。

みんなが『幸せの連鎖』を生み出せ、届けられる人になる。



🍀相談窓口の有無や、相談しやすい環境づくりの工夫は？

- 社内に男女1名の者が両立支援コーディネーター基礎研修を修了した。
- 社内に2名の者がキャリアコンサルタントの資格をもっている。
- 2021年4月より看護師を1名、週に1回のペースで勤務してもらい相談できる環境の構築を図っている。

🍀両立支援制度の取組

- 全ての従業員に対し入社時研修として安全教育・健康管理の説明を行い、まず知識として怪我や病気に備えるよう教育することが両立支援の一步と考えている。
- 両立支援の理解を深めるためセルフケア研修、コミュニケーション研修、ヘルスリテラシーを高める研修等を年間スケジュールで決定するようにしている。
- 6：30から10：30までの間で自由に選べる出勤体制を整えて働き手の多様性に対応している。
- 職場復帰支援として少しずつ馴らしていきたい人を支援するリハビリ勤務制度があります。
- 失効する有給休暇を積み立て、病気・怪我からの復職支援、様々な両立支援に使用できる制度を検討している。



🍀失敗例

- 従業員の健康を考えヘルシー弁当の購入を会社で一部金額を負担し購入をあっせんしたが人気が無くすぐに中止になった・・・。

🍀 経験から生まれた社内の施策

- 従業員の要望に応え、半日単位で取得できる有給休暇制度を2年ほど前から導入しました。続いて時間単位での取得を検討しております。

🍀 健康経営などに関する職場の取組

- 健康診断受診の勤務時間内実施、又35歳以上の検診は協会けんぽの生活習慣病健診とし、全額会社負担としている。又人間ドック受診を促すため年齢別に会社負担額を決めている。さらに女性特有の検診（偶数年）に関しては全額会社で負担している。
- コミュニケーション促進のため年に2回（5月、12月）全額会社負担で400名規模の友の会社員集会、表彰社員集会を開催している。
- 4つの社内クラブ活動に対し会社から活動資金を出して運動を促進している。
- 社内専用スペースに自動販売機を設置し健康に配慮した飲み物を配置している。
- 社内会議室に体重計、血圧測定器、エアロバイク（1台）を設置し、従業員の健康意識向上を図っている。

🍀 両立支援に関する考えなど



病気の治療と仕事の両立をはじめ、様々な両立支援は特別なことでも何でもありません。

人が一人一人その性格が違うように、その人その人を取り巻く環境も一つ一つ違います。

自分が困ったとき、会社が困っているときに助けてもらいたいから人を支援するというものでもありません。

一人一人が生き生きと働くことによって、結果、自分も会社もついでに一緒に幸せになっていくものである。

いろいろと相談と協議を重ねながら、誰一人取り残さず誰一人不幸にすることなく笑顔あふれる会社であり続けたいと考えております。



一人一人が生き生きと働くことによって、自分も会社も一緒に幸せになっていく。

ありがとうございました。